若宮八幡社 社報

金鷹山（きんたかやま）

令和5年（2023）4月1日発刊
通巻第17号

発行所　若宮八幡社社務所
〒873-0004
大分県杵築市大字宮司336番地
発行者　宮司　紀田兼宣
電　話　080（5503）3488

金鷹山 若宮八幡社　検索

神社公式ホームページ開設しております。御覧ください。
インスタグラムはじめました。御覧ください。

祝祭日には国旗を掲揚致しましょう

今年も河津桜が満開になりました

祭事の予告

四月　六日（木）　祈年祭（きねんさい）

午後から予定されておりました大分県無形民俗文化財『御田植祭』は諸般の事情により中止とさせて戴きますので茲にご報告申し上げます

六月三十日（金）　夏越大祓（なごしのおおはらえ）

若宮八幡社神職・総代名簿

宮　司	紀田兼宣
責任役員	矢野守光　〈宮司区〉宮司、馬場尾、守末、中ノ原、菅尾
責任役員	河野秀則　〈西溝井区〉西溝井、二ノ坂
総　代	本多泰久　〈宗近区〉宗近、錦江、杉山、東下司、西下司、下原、中平
総　代	井上　剛　〈南台西区〉南台西、南台東、北台、西上、仲町、天満、弓町
総　代	木本武雄　〈塩田区〉塩田、錦城、北浜、中央、城山、谷町、魚町、据場
総　代	小田　博　〈古野区〉古野、西新町、札ノ辻、北祇園、南祇園、煙硝倉
総　代	渡邊勝富　〈大片平区〉大片平、船部
総　代	山本英雄　〈東溝井区〉東溝井、中津屋
総　代	下枝四郎　〈鴨川区〉鴨川、岩谷

6月30日斎行の夏越大祓・大茅の輪くぐり

好天を祈って

鴨川在住　西 豊之輔

地元鴨川にお住いの西 豊之輔様に、大分県無形民俗文化財『若宮八幡社　御田植祭』についてご寄稿を戴きました

何年前のことか思い出せませんが、あの年の四月六日、杵築若宮八幡社で御田植祭があり、好天に恵まれ桜の花が満開でした。

北杵築の行政区「中津屋（なかつや）」に住む神官役の方が御田植え終了のお祓いをあげたとき、急に満開の桜の花が散り始め「アッ」という間に稲の苗が並んでいる斎田が真っ白になりました。

私はあまりにも美しい光景に見とれて、しばらく立ち去れませんでした。

これからも杵築若宮八幡社で御田植祭が行われるときには好天に恵まれ、桜の花が満開でタイミングよく風が吹いてほしいと願います。

行政区「中津屋」では、「御田植祭」が大分県無形民俗文化財に指定される前から保存会の歴史が永く続いています。

相当以前のことですが、平松県知事時代と石田杵築市長時代のできごとについて述べねばなりません。

大分県主催のスポーツ文化振興大会で、功労団体として「御田植保存会」が表彰され、役員全員が平松県知事（当時）より握手をされました。実は私も事務局員として壇上にいました。

杵築市では石田元市長の在任中、中央線のある広い道路と歩道が出来、練習場として十分に利用できる公民館が建てられました。それまでの不便さが完全に解消されました。

御田植祭の「四月六日」が特に重要であることについて「早乙女」役を中心に述べる必要があります。

「早乙女」とは、「田植えをする女」という意味で、小・中・高校生の女子がこの役をしています。

運よくこの日は学校が春休みで参加できます。

「早乙女」役は十人ほどが必要であり、少子高齢化の中で北杵築小学校児童や杵築市内外に住む中津屋地区のお孫さんに加勢のお願いをしています。

市内外から加勢の場合、本番と練習日が二日以上あるので泊りがけになります。

四月六日が春休み中ですので毎年ホッとしています。

「御田植祭」で演技中に注視して戴きたいことがあります。

殆ど演技者は素足で今は見ない野良着を着ています。

野良着とは野良仕事で働く時に着る着物のことです。

今見られる田植え機や耕運機はなく、牛馬で田んぼを鋤（す）いていました。

本番では実物大に近い牛馬の中に御田植保存会会員が二人ずつ入っていて前足と後足の役をしています。

「とても忙しいこと」を「猫の手を借りたいほど」と表現することがあるように、本番では出産直前の妊婦役の男性が「おやつ」を頭上に担ぎ登場します。

これは今まで「御田植え」の演技の中で笑いを誘う場面の一つで、まだ特筆すべき場面がありますが、今回は割愛させて戴きます。

これからも御田植祭が行われる日が、好天で桜の花が満開であることを願い筆を擱（お）きます。

お祓いを行う神官役

早乙女奉仕の女の子たち

おやつを頭上に担ぐ妊婦役の男性

六月三十日（金）午後三時から夏越大祓を斎行します

半年間の罪や穢れをお祓いして暑い夏を乗り切りましょう

半年間の生活の中で知らないうちに犯してしまった「罪（つみ）や穢（けが）れ」を人形（ひとがた）に託して清らかな身と心になり、清々しく暑い夏を乗り切りませんか？

下記の日時に夏越大祓を斎行し、参列者の皆さんで和歌を唱えながら「茅（ちがや）」で作った大茅の輪を三度くぐります。

六月一日から社頭に於きまして、宮司手製・若宮八幡社オリジナルの「蘇民守・そみんまもり」をお頒ちします。（茅の輪部分は地元の名産である「七島藺・しっとうい」で調製します）

夏越大祓（併　人形昇神祭）

六月三十日（金）午後三時

若宮八幡社本殿前の斎庭

（雨天でも斎行致します）

参列無料・予約等不要です

※人形の昇神も厳修します

和歌を唱えながら大茅の輪をくぐります

例大祭斎行のご報告

三年振りに神輿の渡御巡幸が行われました

補助事業による神輿修繕・衣装の新調などを実施しました

昨年の十二月三日(土)及び四日(日)の二日間に亘り若宮八幡社の最重儀とされる「例大祭」が斎行され、またコロナ禍により永らく中止を余儀なくされておりました「神輿渡御」も三年ぶりに行われ、神輿は若宮広場にある「御旅所」まで巡幸され、御前神楽も奉納されました。

神賑行事として、ゲートボール大会とグラウンドゴルフ大会も開催され、御旅所にお泊りになられた神様もお慶びになられたことと拝察致します。

昔はこの時期に日本三大牛馬市とされる「若宮牛馬市」をはじめ、サーカスなどの盛りたくさんの催しごとが開催されており、この機会に令和の神賑行事を計画して参ります。

この度の神輿渡御に時同じくして、地元宮司区が受けた補助事業をもちまして「神輿の修繕・衣装の新調」も実施させて戴きましたこと紙面をもちまして関係各位に心より厚く御礼申し上げる次第にございます。

修繕・新調の詳細としましては、神輿用の大鳥・小鳥・神鏡・小忌衣(三十五領)、白張(二十四領)、金幣串(十五本)等々であります。

今後の取り進めとしましては、今回の補助事業で修繕・新調しました神輿・衣装類は若宮八幡社で大切に保管を行い、宰領(神輿のお供者)会で毎年協議を行いながら、若宮八幡社の十二月の例大祭という地域の伝統文化を継承して参り度存じ上げます。

お下り神事

御旅所での御前神楽

神輿は無事に還幸

例大祭後に神輿出立

春分の日に春季祖霊祭を斎行

開運祖霊講の入講を承っております

三月二十一日(火・春分の日)に、「祖霊社」に於いて春季祖霊祭が斎行され、併せて講員一柱の合祀を行いました。

この祖霊祭は、神道を宗旨とする「開運祖霊講」講員参列の下、春と秋のお彼岸に斎行され、講員のご先祖約四百柱の御心をお慰め申し上げる神事です。

新規入講承っております。

祖霊社正面

雅楽のお稽古を一緒に行いませんか?

今秋の観月祭に向けて研鑽中です

毎月二回(隔週の土曜日)に雅楽の練習会を行っております。

現在、五名の方が研鑽に励んでおり、今秋に「観月祭」を斎行するに当たり、神様に雅楽をお供えするべく努力を重ねているところですので、ご参加をお待ち申し上げております。

〈雅楽の練習会について〉

毎月二回(隔週の土曜日)

午後二時から四時まで

会費は無料ですが初回時に譜面と龍笛の実費(凡そ八千円)のみお納め下さい。

練習日程は個別に設定も致します。

昨年秋の観月祭

秋の稔り多きことに感謝を致し 新嘗祭・例大祭・正月 神前への奉献のご報告

秋の実りに感謝申し上げる「新嘗祭」また「大嘗祭」のご説明を申し上げます。

十一月二十三日には、宮中の神嘉殿(しんかでん)を始めとして、全国の神社に於いて新嘗祭が斎行されます。

当社は四月六日の祈年祭(春の大祭)で秋の稔り多きことを祈念申し上げ、そのお蔭を以て秋の実りに感謝申し上げる神事として新嘗祭が斎行されます。

新嘗祭が斎行される十一月二十三日の「勤労感謝の日」は、昭和二十三年(1948年)に、「勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝しあう」ことを主旨として制定されました。

一方で、令和元年の秋には、宮中では新嘗祭ではなく、御代替りの年のみ行われる「大嘗祭・だいじょうさい」が斎行されました。

大嘗祭とは、天皇陛下が御代替わり後に初めて斎行される新嘗祭のことで、その起源は7世紀後半、天武天皇の御代にまで遡ります。

奉献された新米

もともと大嘗祭も新嘗祭も十一月の2番目の卯の日に斎行される旨定められておりましたが、新暦に改暦するときに新嘗祭だけが何故か十一月二十三日に斎行する旨決定されました。

その為、令和の御代替りの秋には、宮中では十一月の十四日(木)の夕刻に「悠紀殿供饌の儀・ゆきでんきょうせんのぎ」に続き、翌十五日(金)の未明に「主基殿供饌の儀・すきでんきょうせんのぎ」が大嘗祭として斎行されました。

この新嘗祭を始めとして、例大祭・正月にご奉献を賜りました方々の芳名をご報告申し上げます。

【奉献者　芳名一覧】

〈令和四年　新嘗祭〉

吉水　謙二　様
阿部　重徳　様
JAおおいた杵築支店　様
ジェイエイフーズおおいた　様
㈲中野酒造　様
綾部味噌醸造元　様
とまや茶舗　様
松　山　堂　様
徳　一　様
フンドーキン醤油杵築営業所　様
㈲高橋水産　様
豊予農場　様
JAおおいた杵築柑橘選果場　様
やーまやま　様
㈱絆　屋　様
今村農園　様
きつき紅茶　様
オレンジ農園　様
アドバンストメディカル
　コミュニケーションズ　様
大分水産㈲　様
㈲ふじ環境センター　様
大分県神道青年会　様
㈱木元電設　様
㈱光徳産業　様
矢野　守光　様
後藤　秀子　様
秋山　太郎　様
稲員　澄雄　様
紀田　兼宣　様
岩尾　隆典　様
越海　日文　様
山本　公昭　様
矢野　泰志　様
吉田　良男　様
萱島　祥彦　様
加藤　浩二　様
加藤　隆義　様
徳久　文生　様
清原　正憲　様
高田　年春　様
青柳　純一　様
阿部　親信　様
友弘啓一郎　様
匿　名　様
順不同

税金の語源でもある稲穂で調製する『縣税・かけちから』

〈令和四年　例大祭〉

JAおおいた杵築支店　様
宇都宮行子　様
安倍　雄次　様
矢野　泰志　様
きつき漁菜館　様
匿　名　様
順不同

〈令和五年　初詣〉

元島徳治商店㈲　様
藤﨑　善晶　様
宇都宮　学　様
㈱民俗工芸　様
林表具店　様
大黒鮮魚店　様
㈱光徳産業　様
大分水産㈲　様
城下町会館　様
宮司区氏子中　様
㈱山功　様
門　熙　様
㈱杵築建設　様
酒井　臣司　様
田邉　勲　様
田邉　文夫　様
財前　孝行　様
守末　卓広　様
安倍　雄次　様
㈲びんごや　様
国東観光バス㈱　様
佐藤　郁夫　様
徳　一　様
かどフラワー　様
本多　泰久　様
匿　名　様
順不同

茲に紙面をお借りして、神事に於けるご奉献の芳名をご報告致しますと共に、篤きお心に感謝申し上げます。

引続き年間を通して、御神前に対するご奉献を承りますので、氏子崇敬者各位におかれましては、何卒宜しくお願い申し上げる次第にございます。